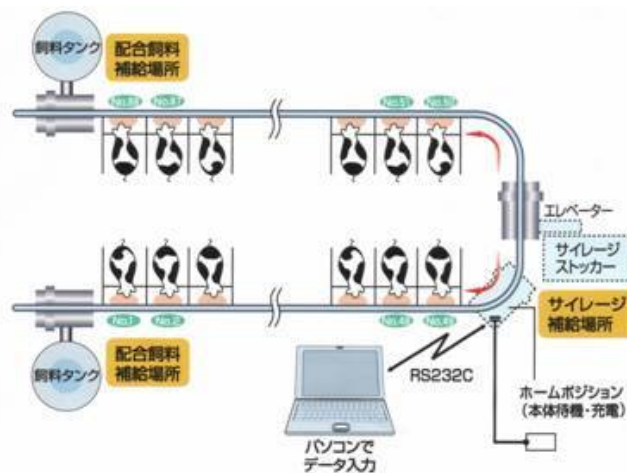


コア企業：北原電牧(株)（札幌市：農業用機械製造業）

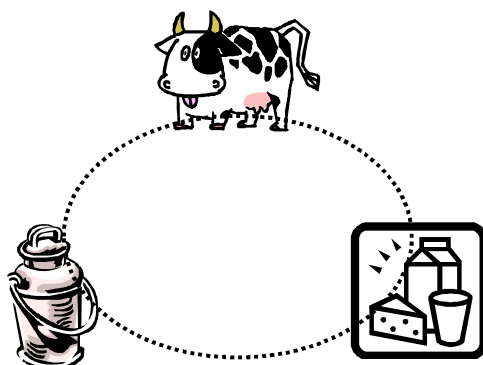
連携企業等：(株)デジック、オリオン機械(株)、(株)YSテクノロジー

事業計画の概要：ITによる乳牛の高度な自動飼養管理システムの開発・販売
～中小規模酪農家の省力化・規模拡大を図る！～

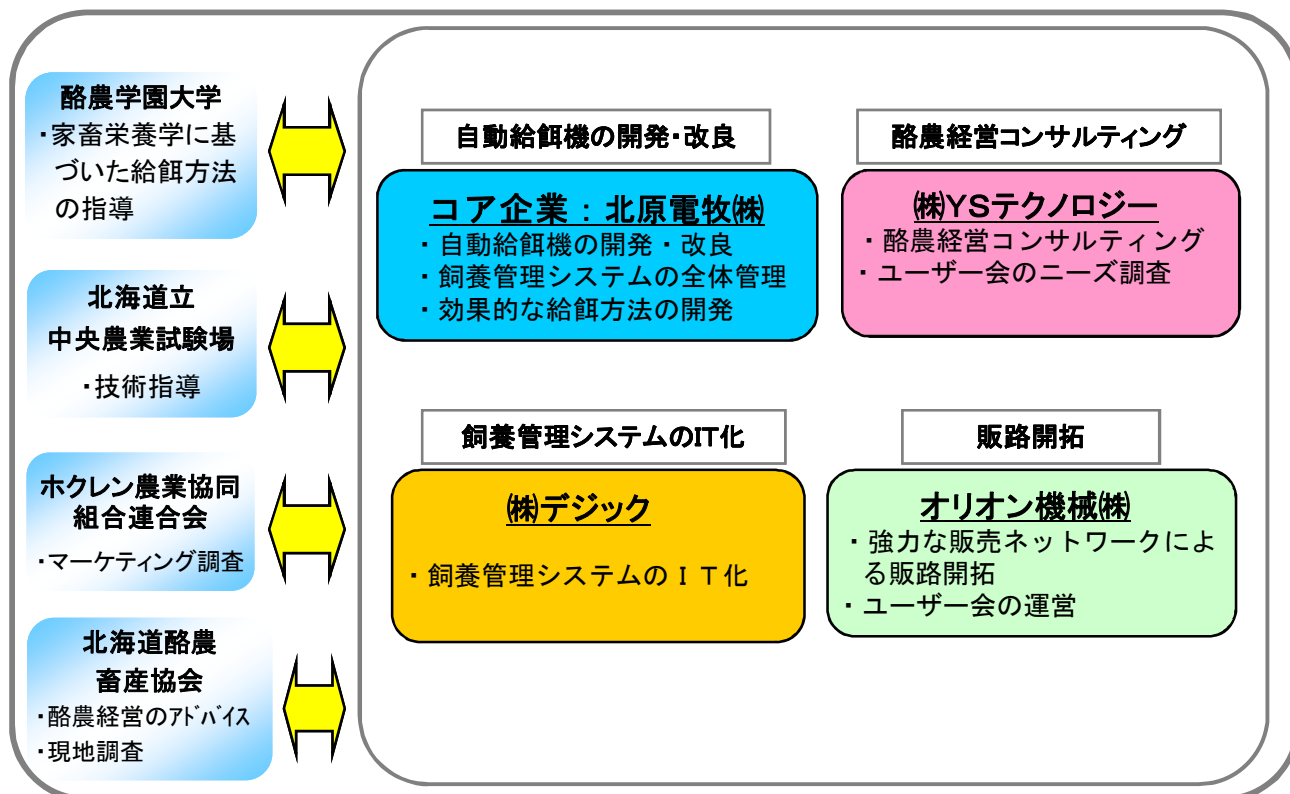
1. 我が国の酪農家の約9割は家族経営を中心とした中小規模経営であり、乳牛を一頭ずつ、つないで飼育する方式が一般的。これら酪農家は、少人数で長時間労働するケースが大半であり、給餌作業はそのかなりの部分を占めている。
2. これら酪農家は、昨今、各種機械化による省力化も行っているが、給餌作業に関しては機械化がほとんど進んでおらず、本連携体では、これらの点に着目し、IT管理による家畜の自動給餌装置を開発し、一部販売を実施した。
3. 本装置はIT管理により牛舎事務所や自宅で給餌時間や各牛ごとの給餌量の設定が可能となり、全ての飼料を無人で給餌できる。また、給餌システムにトラブルが生じた場合、インターネット経由で酪農家の携帯電話に「トラブル発生メール」が送信される。
4. 本事業では、本装置に酪農系大学の家畜栄養学に基づいた牛の個体ごとの給餌の回数・分量・飼料の効果的なブレンド等をITにて自動管理するシステムを付加する。また、販売を行った酪農家からなるユーザー会を組織して、メンバーのニーズ調査を進め、将来は個々の酪農家の実情に応じてきめ細やかに対応する飼育管理システムを開発する。
5. これにより、中小規模の酪農家が省力化、規模拡大を図ることができるとともに、飼育する乳牛の乳量の増加、乳質の向上、寿命の延長などを図ることが可能となる。



ITシステムによる自動給餌装置のイメージ



連携モデル



連携効果

- ・コア企業の自動給餌機の開発技術、連携企業のIT技術が効果的に融合し、高度な自動飼養管理システムが完成。
- ・ユーザー会の運営によるニーズの的確な把握。

新事業

- ・ITによる乳牛の高度な自動飼養管理システムの完成。
- ・酪農家は自動設定により手軽に乳牛の飼養を管理。

市場性

- ・市場ターゲットは、全国の中小規模酪農家。
- ・連携企業の強力な販売ネットワークやユーザー会のネットワークにより、マーケティングを強化。

支援メニュー

【支援金融機関】 中小企業金融公庫

【希望する支援メニュー】 ①政府系金融機関の低利融資 ②補助金 ③設備投資減税

コア企業の会社概要

企業名・代表者	北原電牧株式会社 代表取締役 北原 慎一郎	
所在地	札幌市東区北19条東4丁目	
創立	昭和28年12月	
資本金・従業員数	6,000万円	42名
TEL/FAX	011-711-6136	011-741-7253
e-mail	info@kitaharadenboku.com	
URL	http://www.kitaharadenboku.com	